



学校改善プラン

令和7年度後期～令和8年度前期

令和7年9月策定

千歳市立東千歳中学校

生徒の実態・課題・目標・改善方策・評価方法

全国学力・学習状況調査		N R T 標準学力検査・ほっかいどうチャレンジテスト		学校評価・学習アンケート																																																																																																																																																																												
[実態]	<p>平均正答率</p> <p>R5(国語)全国 69.8 本校(全国比+) R6(国語)全国 58.1 本校(全国比+) R7(国語)全国 54.3 本校(全国比+)</p> <p>R5(数学)全国 51.0 本校(全国比+) R6(数学)全国 52.5 本校(全国比+) R7(数学)全国 48.3 本校(全国比+)</p> <p>R7(理科)IR スコア 全国 503 本校全国比+</p> <p>国語 <分析>自分の考え方の根拠を明確にして書くことや読み手の立場に立って文章を整える問題に落ち込みが見られる。課題となる「読解力と記述力」の向上を図るために問題文を読むことに困難を感じる生徒には、(無回答が多い)様々な方法で文章を確実に読ませたり、考えを言葉で表現させる機会を増やしていく。</p> <p>数学 <分析>教科書と照らし合わせながら、どう解き方をしていくのかなど考え、対話を通して、スマイルステップで理解を深めるようにする。練習問題を昨年度よりも多く取り組む中で、定着層には発展問題、中間層には基本問題に取り組む習熟度別の学習にも取り組んでいく。</p> <p>各教科正答率 全国平均+10 以上</p> <p>国語 「書くこと」 全国平均以上 その他の領域 全国平均+10 以上</p> <p>数学 「図形」「関数」正答率 50 以上</p>	<p>[実態] [課題]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">国語</th> </tr> <tr> <th colspan="2">現3年生</th> <th colspan="2">現2年生</th> </tr> <tr> <th>偏差値</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <th>平均</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">▲「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 全国比 93 ※「話・聞」 現3年生 全国比 94 ※「話・聞」</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">社会</th> </tr> <tr> <th colspan="2">現3年生</th> <th colspan="2">現2年生</th> </tr> <tr> <th>偏差値</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <th>平均</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">▲2年「原始から古代」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 全国比 87 現3年生 全国比 全て 100 以上</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">数学</th> </tr> <tr> <th colspan="2">現3年生</th> <th colspan="2">現2年生</th> </tr> <tr> <th>偏差値</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <th>平均</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">▲2年「数と式」「関数」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 数と式 全国比 51 関数 全国比 77</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">英語</th> </tr> <tr> <th colspan="2">現3年生</th> <th colspan="2">現2年生</th> </tr> <tr> <th>偏差値</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <th>平均</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">▲2年「聞くこと」「読むこと」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 聞くこと 全国比 86 読むこと 全国比 84</td> </tr> </tbody> </table> <p>[目標]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">分析</th> </tr> <tr> <th colspan="4">現3年生はほとんどの教科で昨年度よりも伸びが見られた。これは昨年度からの校内研究「パフォーマンス課題」の実践に取り組み、授業改革が進んだ成果と考える。ただし、数学など既習事項の未定着が見られたため、「習得・反復」をバランスよく取り入れていく必要がある。 現2年生については昨年度より伸びが見られるものの、平均偏差値が50に達していない教科もあり、特に数学の「数と式」「関数」の領域で未定着が目立つ。授業の中で基礎の復習を丁寧に取り入れていく必要がある。</th> </tr> <tr> <th colspan="4">NRT 国語 全国比 100 以上 2年生「話すこと・聞くこと」93 NRT 社会 全国比 100 以上 2年生「歴史的分野」87 NRT 数学 全国比 100 以上 2年生「数と式」51 「関数」77 NRT 理科 全国比 100 以上 2年生「粒子（身の回りの物質）」97 NRT 英語 全国比 100 以上 2年生「聞くこと」86 「読む」84 ほっかいどうチャレンジテスト 2年生の「伸びしろ層」の基礎学力の定着を図る</th> </tr> </thead> </table>	国語				現3年生		現2年生		偏差値	R6	R7	R7	平均				▲「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 全国比 93 ※「話・聞」 現3年生 全国比 94 ※「話・聞」				社会				現3年生		現2年生		偏差値	R6	R7	R7	平均				▲2年「原始から古代」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 全国比 87 現3年生 全国比 全て 100 以上				数学				現3年生		現2年生		偏差値	R6	R7	R7	平均				▲2年「数と式」「関数」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 数と式 全国比 51 関数 全国比 77				英語				現3年生		現2年生		偏差値	R6	R7	R7	平均				▲2年「聞くこと」「読むこと」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 聞くこと 全国比 86 読むこと 全国比 84				分析				現3年生はほとんどの教科で昨年度よりも伸びが見られた。これは昨年度からの校内研究「パフォーマンス課題」の実践に取り組み、授業改革が進んだ成果と考える。ただし、数学など既習事項の未定着が見られたため、「習得・反復」をバランスよく取り入れていく必要がある。 現2年生については昨年度より伸びが見られるものの、平均偏差値が50に達していない教科もあり、特に数学の「数と式」「関数」の領域で未定着が目立つ。授業の中で基礎の復習を丁寧に取り入れていく必要がある。				NRT 国語 全国比 100 以上 2年生「話すこと・聞くこと」93 NRT 社会 全国比 100 以上 2年生「歴史的分野」87 NRT 数学 全国比 100 以上 2年生「数と式」51 「関数」77 NRT 理科 全国比 100 以上 2年生「粒子（身の回りの物質）」97 NRT 英語 全国比 100 以上 2年生「聞くこと」86 「読む」84 ほっかいどうチャレンジテスト 2年生の「伸びしろ層」の基礎学力の定着を図る				<p>[実態] [課題]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">社会</th> </tr> <tr> <th colspan="2">現3年生</th> <th colspan="2">現2年生</th> </tr> <tr> <th>偏差値</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <th>平均</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">▲2年「原始から古代」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 全国比 87 現3年生 全国比 全て 100 以上</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">理科</th> </tr> <tr> <th colspan="2">現3年生</th> <th colspan="2">現2年生</th> </tr> <tr> <th>偏差値</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <th>平均</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">▲「粒子」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 身の回りの物質 全国比 97 現3年生 全国比 全て 110 以上</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">第2回ほっかいどうチャレンジテスト (伸びしろ層の人数)</th> </tr> <tr> <th colspan="4">中3国… 中3数… 中2数… 中2英… 中1英…</th> </tr> <tr> <th colspan="4">2年生の対策を重点的に行う。家庭学習の定着化の取り組み</th> </tr> </thead> </table>	社会				現3年生		現2年生		偏差値	R6	R7	R7	平均				▲2年「原始から古代」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 全国比 87 現3年生 全国比 全て 100 以上				理科				現3年生		現2年生		偏差値	R6	R7	R7	平均				▲「粒子」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 身の回りの物質 全国比 97 現3年生 全国比 全て 110 以上				第2回ほっかいどうチャレンジテスト (伸びしろ層の人数)				中3国… 中3数… 中2数… 中2英… 中1英…				2年生の対策を重点的に行う。家庭学習の定着化の取り組み				<p>[実態] [課題]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">保護者</th> </tr> <tr> <td colspan="4">(平均値最大 4)</td> </tr> <tr> <td>●学校の勉強が分かる</td> <td colspan="3">(平均値 3.1)</td> </tr> <tr> <td>●家庭学習の習慣化がされている</td> <td colspan="3">(平均値 2.8)</td> </tr> <tr> <td>○対話と ICT 活用の授業実践</td> <td colspan="3">(平均値 3.9)</td> </tr> <tr> <td>○重点教育目標の適切さ</td> <td colspan="3">(平均値 3.9)</td> </tr> <tr> <td>○学校は可視化努めている</td> <td colspan="3">(平均値 4.0)</td> </tr> </thead> </table> <p>[生徒]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本的生活習慣・体調自己管理 (平均値 3.2) ◇学校の勉強は分かる (平均値 3.4) ○対話と ICT 活用で学びを深めた (平均値 3.8) ○家庭学習の取り組みを進めた (平均値 3.6) <p>[教職員]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家庭学習習慣化の促進 (平均値 2.9) ○学習指導要領に基づく教育過程を実施し、授業での対話の位置づけや ICT の効果的活用など「授業改革」に積極的に取り組んだ (平均値 3.6) ○授業において生徒同士が価値交換を図る機会を意図的に設定している (平均値 3.6) ○この額状況を把握し、指導計画を工夫しながら授業に取り組んだ (平均値 3.9) <p>[学習アンケート]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家で1日のうち1年 80 分、2年 90 分、3年 100 分以上勉強している (平均値 2.7) ●パフォーマンス課題の取り組みでは、学んだことや調べたこと、できるようになったことを使って、自分の考えをまとめることができた (平均値 2.7) ●単元のはじめに示される目標や評価規準を意識して授業に取り組んだ (平均値 2.9) ○対話で互いのよさを生かした (平均値 3.4) <p>ハイパーQU</p> <p>▲学校生活満足群 1年 67% 2年 80% 3年 80%</p> <p>△家庭学習の習慣化について保護者・教職員と生徒の意識に乖離が見られる。実態としては取り組みに二極化が見られ取り組みが不十分な生徒への手立てが必要である。</p> <p>◇パフォーマンス課題の取り組みについては1年生がアンケート時点でまだ慣れていない状況のためであった考える。</p>	保護者				(平均値最大 4)				●学校の勉強が分かる	(平均値 3.1)			●家庭学習の習慣化がされている	(平均値 2.8)			○対話と ICT 活用の授業実践	(平均値 3.9)			○重点教育目標の適切さ	(平均値 3.9)			○学校は可視化努めている	(平均値 4.0)		
国語																																																																																																																																																																																
現3年生		現2年生																																																																																																																																																																														
偏差値	R6	R7	R7																																																																																																																																																																													
平均																																																																																																																																																																																
▲「話すこと・聞くこと」「書くこと」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 全国比 93 ※「話・聞」 現3年生 全国比 94 ※「話・聞」																																																																																																																																																																																
社会																																																																																																																																																																																
現3年生		現2年生																																																																																																																																																																														
偏差値	R6	R7	R7																																																																																																																																																																													
平均																																																																																																																																																																																
▲2年「原始から古代」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 全国比 87 現3年生 全国比 全て 100 以上																																																																																																																																																																																
数学																																																																																																																																																																																
現3年生		現2年生																																																																																																																																																																														
偏差値	R6	R7	R7																																																																																																																																																																													
平均																																																																																																																																																																																
▲2年「数と式」「関数」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 数と式 全国比 51 関数 全国比 77																																																																																																																																																																																
英語																																																																																																																																																																																
現3年生		現2年生																																																																																																																																																																														
偏差値	R6	R7	R7																																																																																																																																																																													
平均																																																																																																																																																																																
▲2年「聞くこと」「読むこと」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 聞くこと 全国比 86 読むこと 全国比 84																																																																																																																																																																																
分析																																																																																																																																																																																
現3年生はほとんどの教科で昨年度よりも伸びが見られた。これは昨年度からの校内研究「パフォーマンス課題」の実践に取り組み、授業改革が進んだ成果と考える。ただし、数学など既習事項の未定着が見られたため、「習得・反復」をバランスよく取り入れていく必要がある。 現2年生については昨年度より伸びが見られるものの、平均偏差値が50に達していない教科もあり、特に数学の「数と式」「関数」の領域で未定着が目立つ。授業の中で基礎の復習を丁寧に取り入れていく必要がある。																																																																																																																																																																																
NRT 国語 全国比 100 以上 2年生「話すこと・聞くこと」93 NRT 社会 全国比 100 以上 2年生「歴史的分野」87 NRT 数学 全国比 100 以上 2年生「数と式」51 「関数」77 NRT 理科 全国比 100 以上 2年生「粒子（身の回りの物質）」97 NRT 英語 全国比 100 以上 2年生「聞くこと」86 「読む」84 ほっかいどうチャレンジテスト 2年生の「伸びしろ層」の基礎学力の定着を図る																																																																																																																																																																																
社会																																																																																																																																																																																
現3年生		現2年生																																																																																																																																																																														
偏差値	R6	R7	R7																																																																																																																																																																													
平均																																																																																																																																																																																
▲2年「原始から古代」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 全国比 87 現3年生 全国比 全て 100 以上																																																																																																																																																																																
理科																																																																																																																																																																																
現3年生		現2年生																																																																																																																																																																														
偏差値	R6	R7	R7																																																																																																																																																																													
平均																																																																																																																																																																																
▲「粒子」において、全国に比べ低い傾向 現2年生 身の回りの物質 全国比 97 現3年生 全国比 全て 110 以上																																																																																																																																																																																
第2回ほっかいどうチャレンジテスト (伸びしろ層の人数)																																																																																																																																																																																
中3国… 中3数… 中2数… 中2英… 中1英…																																																																																																																																																																																
2年生の対策を重点的に行う。家庭学習の定着化の取り組み																																																																																																																																																																																
保護者																																																																																																																																																																																
(平均値最大 4)																																																																																																																																																																																
●学校の勉強が分かる	(平均値 3.1)																																																																																																																																																																															
●家庭学習の習慣化がされている	(平均値 2.8)																																																																																																																																																																															
○対話と ICT 活用の授業実践	(平均値 3.9)																																																																																																																																																																															
○重点教育目標の適切さ	(平均値 3.9)																																																																																																																																																																															
○学校は可視化努めている	(平均値 4.0)																																																																																																																																																																															
[目標]																																																																																																																																																																																
[改善策]	<p>各教科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題の実践継続を通して、対話と ICT を有効に活用し、単元で学習した知識・技能を働かせて思考させることに重点を置く ・更なる授業改革を推進し、読解力・記述力の向上を図る。「探求型・対話型」と「習得型・反復型」の両輪で授業を展開する ・「単元を貫く問い合わせ」で見通しをもたせ、「単元のまとめ」では予想と結論を比較して学習を振り返り、変容を実感させる（単元末） ・授業の延長の家庭学習（調べ学習や思考・判断・表現を高める）と知識・技能を定着させる家庭学習（ワーク・ドリルパーク等）の意義をそれぞれ伝え、自分で必要な家庭学習を選択して、取り組ませる <p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業では多くの文章に触れ、要約文を書く練習や「対話」を柱とした言語活動を推進するとともにドリルパークを活用する <p>社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元ごとにテーマを設け、生徒自身で調べ考察する時間を持つ ・単元テストで知識のつながりや深まりを確認する記述問題を出題する <p>数学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスト分析から個の学習状況をふまえ、基本問題・発展問題等に分けて習熟度別での学習を取り入れる <p>理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験で得られた結果を自分で分析し自分の言葉でまとめ、交流する <p>英語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で「話す・聞く・書く」を重視した授業展開を推進する 	<p>「伸びしろ層」を「中間層」へ「中間層」を「定着層」へ引き上げる</p> <p>「対話」の質の向上（質問力）と言葉を吟味して話す活動の充実（発信力）</p> <p>ICT 活用（思考の表出や協働）の工夫と教師の「我慢」による授業改革</p> <p>思考を自分の言葉で表出させることによる「読解力と記述力」向上</p>																																																																																																																																																																														

検証・改善サイクル

